

赤，ピンク，オレンジ花色系パンジーの品種特性把握

上原恵美
(江戸川分場)

【要約】赤色系は「マトリックス ローズ, SK8-476 クリアスカーレット」, ピンク系は「F₁ピカソ ピンクシェード, マトリックス ピンクシェード, パシオ ピンク」, オレンジ系は「マトリックス オレンジ, プライマックス SK1-575 クリアオレンジ」が有望である。

【目的】

パンジーの花色の遺伝は、紫、黄色に対し、赤、ピンク、オレンジ色は劣性であるが、これらの安定した花色を示す大輪系品種に対する生産者からの要望は強い。そこで、これらの花色に限定して優れた花色の品種を検索する。

【方法】

実験1：2014年7月24日、406穴セルトレイに1穴1粒播種し、鉢上げは、8月20日に3.5号ポリポットに行った。鉢用土は、江戸川分場標準用土（赤土：腐葉土：無調整ピートモス＝3：1：1）を使用した。基肥として化成肥料（マグアンプK中粒）5 kg/m³、過リン酸石灰3 kg/m³を施用した。追肥は随時行った。

実験2：実験1で播種した供試品種にスミセブンP100倍液を播種後28日目に処理し、開花株率を調査した。

【成果の概要】

1. 赤色系品種で開花が早かったのは、No. 3, 7であった。No. 4はわい化剤使用で、出荷最盛期にあたる80%開花日が10日程度遅くなった。No. 3は草姿がコンパクトで、明赤色で揃いも良好であった。No. 6は花色の揃いがよく、花卉が痛みにくい品種であった。No. 2は灌水で花卉の焼ける症状（図1）が発生するため、注意が必要である（表1, 2, 3）。
2. ピンク色系品種は、どの品種も花色に個体差があり、気温の低下と共に花色が濃く変化した。ピンク色系品種で開花が早かったのはNo. 12で、遅かったのはNo. 11であった。わい化剤を使用するとNo. 10, 11は80%開花日がわい化剤の無使用より1週間以上遅くなった。No. 11は、草姿がコンパクトで、花色の個体差が小さく有望である。また、No. 8, 12も初花開花日が早く、花上がりが良かった（表1, 2, 3）。
3. オレンジ系品種は、No. 19の花色が最も濃いオレンジ色であったが、根腐れをおこしやすかった。また、No. 14は調査を行った10月下旬では連続開花性に乏しく、葉が大きく草姿のバランスが悪かった。多花性で6cm程度の花径のNo. 15, 16は有望であると考えられた（表1, 2, 3）。
4. まとめ：供試品種の中では、赤色系品種は、No. 3, 6が良好であった。ピンク系品種は、No. 8, 11, 12が有望であった。オレンジ系品種では、多花性のNo. 15, 16が有望であると考えられた。遺伝的に劣性で品種の固定化が難しく個体間でばらつき、花色の揃いに欠ける品種もあった。今後も生産者の期待する品種の育成が期待される。

表1 赤, ピンク, オレンジ系花色パンジーの形態

品種 No.	品種名	種苗 会社 名 ^{a)}	草丈	株幅	葉長	葉幅	花径	花柄長	特記事項	種苗会 入賞品 種 ^{b)}
			(cm)	(cm)	(cm)	(cm)	(cm)	(cm)		
【赤色系】										
1	パシオ レッドブロッチ	サ	9.3	20.1	5.0	3.0	6.5	9.2		
2	F ₁ ピカソ レッドブロッチ	タ	19.0	26.6	5.3	3.5	6.2	9.0	花卉ピロード状、花卉が焼けやすい	
3	SK8-476 クリアスカーレット	サ	9.5	21.3	5.1	3.4	6.2	9.9	花卉の傷みが少ない	
4	パシオ クリアスカーレット	サ	11.0	21.0	5.0	3.3	6.0	8.8	花卉黄色を含む場合あり 個体差あり	
5	F ₁ ピカソ ローズブロッチ	タ	11.8	19.1	5.3	3.1	5.9	9.8		
6	マトリックス ローズ	M	12.1	22.8	6.1	3.7	5.8	9.1	花色の揃い良、多花性	○
7	マトリックス スカーレット	M	12.2	19.9	5.8	4.0	5.8	12.4		
【ピンク色系】										
8	マトリックス ピンクシェード ^{c)}	M	11.6	22.6	5.4	3.9	6.4	8.3		○
9	F ₁ ピカソ アプリコットシェード ^{c)} インプ	タ	11.7	20.8	6.4	3.5	6.2	10.1	低温期に花色変化、花卉に軽度のウェーブ	
10	きらり ピーチシェード	ム	10.8	18.6	6.1	3.7	6.2	10.3		
11	パシオ ピンク	サ	8.4	19.9	6.1	3.6	6.2	8.2		
12	F ₁ ピカソ ピンクシェード ^{c)}	タ	12.3	22.8	5.7	3.7	5.8	9.1	多花性、花上がりがよい	○
13	パシオピーチ	サ	10.3	22.9	5.2	3.3	5.8	9.2	花色に個体差大きい	
【オレンジ色系】										
14	F ₁ ピカソ クリアオレンジ	タ	10.1	22.7	7.3	3.7	6.2	8.9	連続開花性低い、葉長が長い	
15	ブライマックスSK1-575クリアオレンジ	サ	9.3	20.8	6.5	3.7	5.9	9.2	多花性	○
16	マトリックス オレンジ	M	10.8	23.6	6.2	3.7	5.8	10.0	多花性、	○
17	パシオ クリアオレンジ	サ	9.0	18.5	5.4	4.9	5.6	9.0		
18	F ₁ ピカソ オレンジブロッチ	タ	9.5	22.7	5.6	3.5	5.4	8.8		
19	マトリックス ディープオレンジ	M	8.7	18.7	5.1	4.7	5.1	7.5	根腐れをおこしやすい	
20	きらり クリアオレンジ	ム	10.8	32.5	5.7	3.7	4.8	10.2	多花性、芳香あり	

a)種苗会社名: タ:タキイ種苗(株), サ:(株)サカタのタネ, ム:(株)ムラカミシード, M:(株)エム・アンド・ビー・フローラ
b)2014年10月27日開催

表2 開花株率の推移

品種No.	初花開花日	50%開花日 (出荷開始期)	80%開花日 (出荷最盛期)
1	9/25	10/3	10/6
2	9/25	10/1	10/6
3	9/24	10/1	10/6
4	9/25	10/3	10/10
5	9/27	10/3	10/6
6	9/26	10/2	10/6
7	9/24	9/30	10/6
8	9/23	9/28	10/1
9	9/23	10/1	10/6
10	9/30	10/6	10/8
11	10/1	10/7	10/10
12	9/22	9/27	10/1
13	9/23	9/29	10/1
14	9/25	10/10	10/22
15	9/24	10/1	10/10
16	9/24	9/29	10/3
17	9/24	10/1	10/6
18	9/30	10/6	10/10
19	9/23	10/1	10/6
20	10/2	10/8	10/14

表3 わい化剤処理区の開花株率の推移

品種No.	初花開花日	50%開花日 (出荷開始期)	80%開花日 (出荷最盛期)
1	9/27	10/3	10/10
2	9/25	10/1	10/6
3	9/25	10/3	10/6
4	9/25	10/14	10/22
5	9/28	10/3	10/6
6	9/28	10/6	10/10
7	9/29	10/6	10/10
8	9/24	9/29	10/3
9	9/26	10/3	10/10
10	10/1	10/10	10/15
11	10/1	10/10	10/18
12	9/24	9/30	10/3
13	9/26	10/1	10/3
14	10/1	10/10	10/22
15	9/25	10/3	10/14
16	9/27	10/3	10/10
17	9/24	10/1	10/6
18	9/30	10/6	10/10
19	9/27	10/6	10/14
20	10/2	10/14	10/18



図1 花卉の焼け症状